

計画の名称	通学路の安全を確保する街路整備（防災・安全）											
計画の期間	平成31年度～令和05年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	青森県,黒石市											
計画の目標	緊急合同点検及び通学路交通安全プログラムにより要対策箇所と位置づけられた通学路の整備を促進し、安全・安心な通学路を確保する。											
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		5,506	A	5,506	B	0	C	0	D	0
										効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H31当初	H33末	H35末
1	歩道の設置や拡幅によって、緊急合同点検及び通学路交通安全プログラムにおいて要対策箇所と位置づけられた通学路の整備率を18.2%にする。			
	要対策箇所と位置付けられた通学路の整備率 （整備率）＝（対策済み箇所延長）／（要対策箇所延長）× 100	0%	18%	18%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
道路事業	A01-001	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・2号西滝新城線（新城）（24-A1）	街路整備 L=0.6km	青森市		■	■	■	■	1,110		-	
	A01-002	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・5・4号堤町通り浜田線（奥野）（24-A2）	街路整備 L=0.5km	青森市	■	■	■	■	■	639		-	
	A01-003	街路	一般	青森県	直接	青森県	S街路	改築	3・4・20号紺屋町野田線（24-A3）	街路整備 L=0.9km	弘前市	■	■	■	■		3,014		-	
	A01-004	街路	一般	黒石市	直接	黒石市	S街路	改築	3・4・7号黒石環状線（24-A4）	街路整備 L=0.9km	黒石市	■	■	■	■	■	743		-	
												小計						5,506		
											合計						5,506			

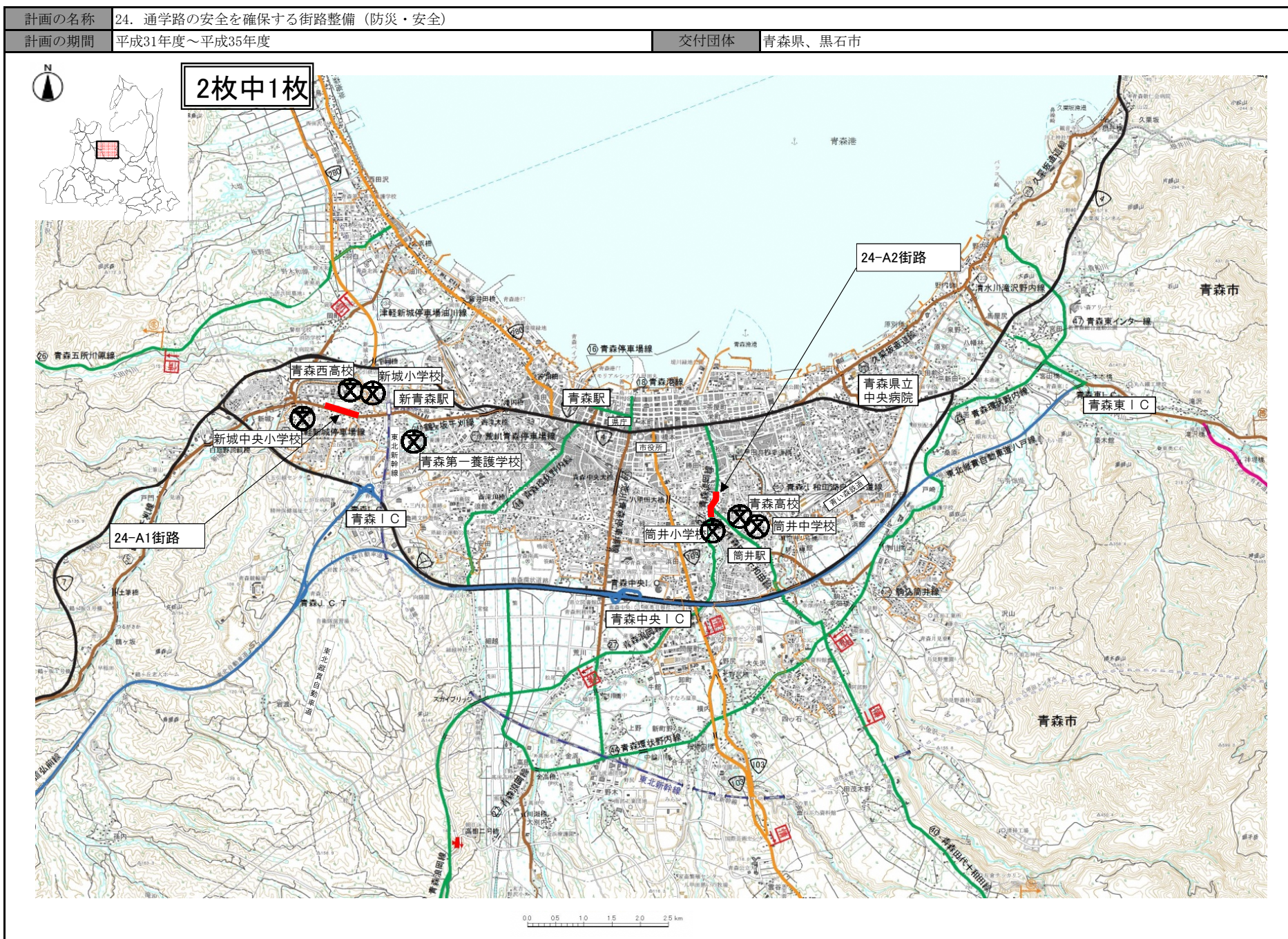
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H31				
配分額 (a)	155				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	155				
前年度からの繰越額 (d)	41				
支払済額 (e)	78				
翌年度繰越額 (f)	118				
うち未契約繰越額(g)	49				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	25				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	工事施工上障害となる物件の移転先、移転時期及び補償費の問題により、補償交渉に不測の日数を要したため。				

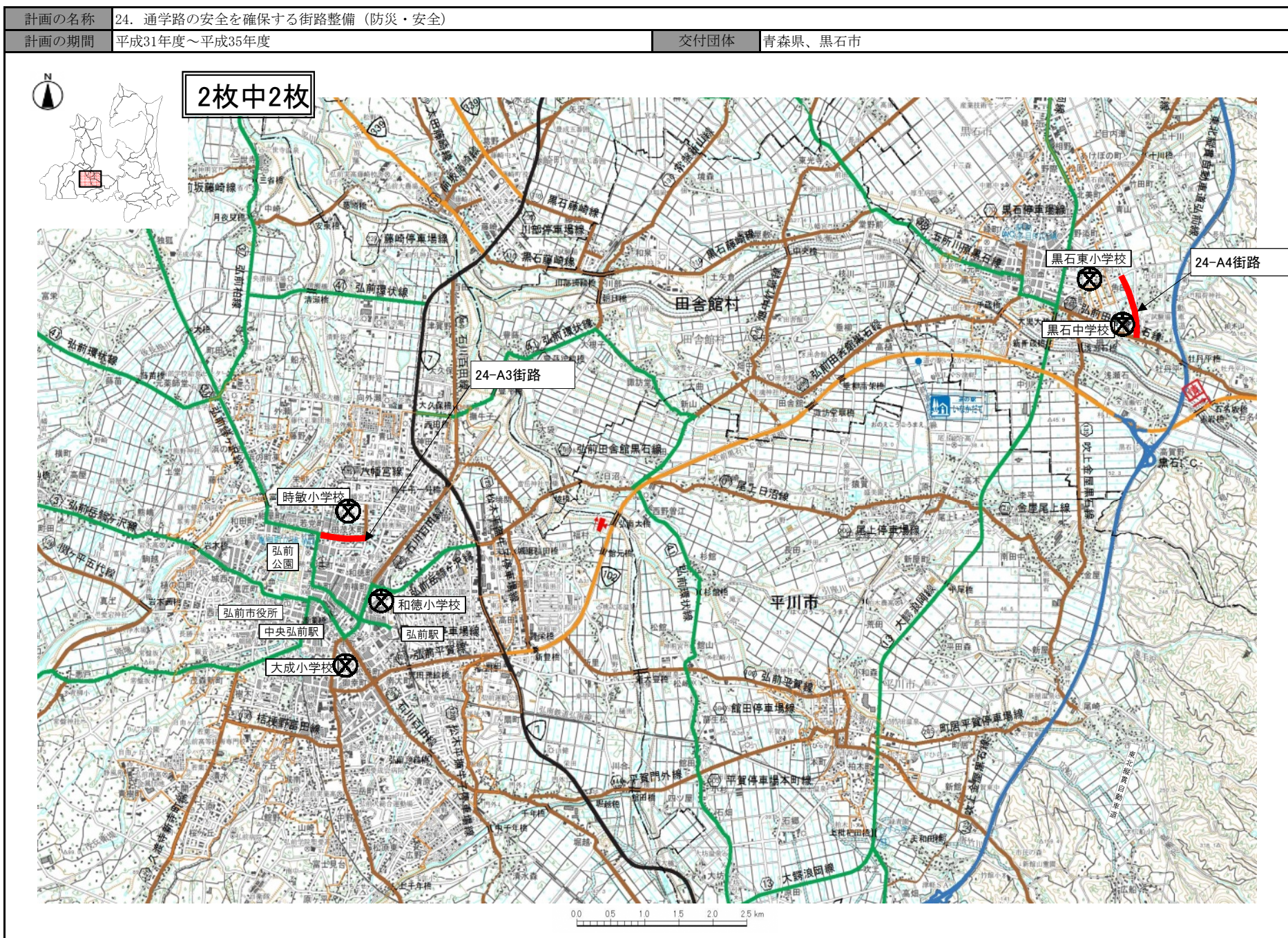
(参考様式3)

(参考図面) 社会資本総合整備計画



(参考様式3)

(参考図面) 社会資本総合整備計画



事前評価チェックシート

計画の名称： 通学路の安全を確保する街路整備（防災・安全）

事前評価		チェック欄
Ⅰ．目標の妥当性 上位計画との適合 １）上位計画等と整合性が確保されている。		○
Ⅰ．目標の妥当性 地域のニーズ・課題への対応 １）地域の道路整備の状況等、現状分析が適切になされている。		○
Ⅰ．目標の妥当性 地域のニーズ・課題への対応 ２）地域のニーズ・課題を踏まえて目標が設定されている。		○
Ⅰ．目標の妥当性 地域のニーズ・課題への対応 ３）客観的かつ具体的な目標となっている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 １）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 ２）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 ３）指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 ４）関連社会資本整備事業は基幹事業と一体性が確保されている。		
Ⅱ．計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 ５）効果促進事業は基幹事業の効果を高める内容となっている。		
Ⅱ．計画の効果・効率性 事業の効果 １）十分な事業効果(成果目標の達成)が確認されている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性 事業の効果 ２）他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。		○
Ⅱ．計画の効果・効率性 事業の効果 ３）事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。		○
Ⅲ．計画の実現可能性 計画の具体性・適時性 １）計画の具体性など、事業の熟度が高い。		○
Ⅲ．計画の実現可能性 計画の具体性・適時性 ２）計画期間内に優先して実施するものとなっている。		○
Ⅲ．計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 １）計画に記載された事業に関連する地方自治体・地元等の理解が得られている。		○

[illegible]